

第1期中期目標期間(令和3年度～8年度)

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学

第1期中期目標期間終了時に見込まれる業務の実績に
関する評価結果

(案)

令和7年 月

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学評価委員会

第1 公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学の中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価について

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学評価委員会は、「公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学に係る評価基本方針」（令和3年8月3日制定）に基づき、令和3年度から8年度までの中期目標期間終了時に見込まれる業務の実績に関する評価を行った。

1 評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 評価を通じて、大学の教育研究及び法人運営の進捗状況等を分かりやすく示し、県民への説明責任を果たしていくものとする。
- (2) 法人の教育研究並びに組織及び運営についての様々な工夫や特色ある取組を積極的に評価するものとする。
- (3) 次期の中期目標・中期計画、法人の組織及び業務運営の見直しの検討に資するものとする。

2 評価方法

事業年度評価の結果を踏まえつつ、中期目標の達成に向けた進捗状況及び取組予定を調査・分析し、中期目標期間に見込まれる業務実績全体について総合的な評価を行った。

第2 全体評価

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学（以下「法人」という。）の第1期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に関しては、全体として「**中期目標の達成に向けた進捗状況が良好である**」と評価する。

(2) 判断理由

法人は、静岡社会健康医学大学院大学が、社会健康医学の視点を取り入れ、これまでの健康長寿の取組を体系化し、健康寿命の延伸に資する先端的な施策や研究などに取り組むことにより、得られた成果や知見を的確に県民の生活に反映させることを目的に、社会健康医学の「知と人材の拠点」となることを目指して計画を策定し、遂行している。

第1期中期目標期間においては、「健康増進・疾病予防対策を牽引する「高度医療専門職」、地域社会において実践活動を担う「健康づくり実務者」及び社会健康医学の発展を導く「研究者」の育成」、「疫学」、「医療ビッグデータ」、「ゲノムコホート」研究の推進により得られた科学的知見の地域等への還元」、「研究成果に基づいた行政機関等の健康増進・疾病予防対策への支援及び住民が主体的に健康増進活動に取り組む社会の構築の支援」などを目指し、中期計画を策定し、教育研究及び地域貢献の取組を積極的に推進しているところである。

中期目標・中期計画の達成に向けた法人の業務の進捗状況については、以下及び「第3 項目別評価」のとおり、「**大学の教育研究等の質の向上に関する目標**」、「**法人の経営に関する目標**」、「**自己点検・評価及び情報の提供に関する目標**」、「**その他業務運営に関する重要目標**」の4項目について「**中期目標の達成に向けた進捗状況が良好である**」と認められる。また、**成果目標である学位取得者50人の輩出に対し、77人を輩出する見込**であり、これらの状況を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価が相当と判断した。

ア 「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」について

入学定員を上回る入学者の継続的な確保、論文・学会発表を通じた積極的な情報発信、大学や関係団体等との連携の推進、自治体の施策推進への積極的な支援などの取組が認められることから、「**中期目標の達成に向けた進捗状況が良好である**」と評価する。

イ 「法人の経営に関する目標」について

外部資金の獲得や寄附金の確保による積極的な自己収入の確保、職員の適正配置等による事務事業の効率化の推進などの取組が認められることから、「中期目標の達成に向けた進捗状況が良好である」と評価する。

ウ 「自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」について

ニュースレターの刊行やアニュアルレポートの制作・配布による積極的な大学の魅力発信などの取組が認められることから、「中期目標の達成に向けた進捗状況が良好である」と評価する。

エ 「その他業務運営に関する重要目標」について

情報セキュリティ研修会の実施や情報セキュリティ委員会の設置による個人情報保護のための対策の強化などの取組が認められることから、「中期目標の達成に向けた進捗状況が良好である」と評価する。

令和8年度に第1期中期目標期間の最終年度を迎えることから、中期目標及び中期計画の達成に向けた具体的な取組を明確化し、着実に成果を上げることが期待される。

第1期の残された期間において、理事長兼学長のリーダーシップの下、大学全体の中長期的な展望を検討し、「社会健康医学の「知と人材の拠点」」として飛躍するため、教職員が一体となり、業務を推進されたい。

〔参考〕項目別評価の結果

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	I 非常に優れている	II 良好である	III おおむね良好である	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
2 法人の経営に関する目標	I 非常に優れている	II 良好である	III おおむね良好である	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
3 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	I 非常に優れている	II 良好である	III おおむね良好である	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある
4 その他業務運営に関する重要目標	I 非常に優れている	II 良好である	III おおむね良好である	IV やや遅れている	V 重大な改善事項がある

〔参考〕成果目標一覧

目標	目標	実績（見込）
学位取得者の輩出	50 人（期間累計）	77 人

第3 項目別評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

大学の教育研究等の質の向上に関する目標の進捗状況は、「**中期目標の達成に向けた進捗状況が良好である**」と評価する。

(2) 判断理由

法人は、中期目標として指示された「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」を達成するため、中期計画として小項目 46 項目、活動目標 8 目標を定め業務を実施しているところであるが、当評価委員会が検証した結果、46 項目全てが「**中期計画を順調に実施している**」と認められた。また、活動目標は、8 目標中 5 目標が「**中期計画を上回って実施している**」、3 目標が「**中期計画を順調に実施している**」と認められた。

これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のと通りの評価に相当すると判断した。

2 優れた点、特色ある点、評価に当たっての意見、指摘等

(1) 優れた点

- ・中期目標期間において、成果目標である 50 人を超える学位取得者を輩出するため、継続して入学定員を上回る入学者を確保した。(No. 6)
- ・社会健康医学研究により得られた知見や成果を、行政や医療機関などと連携して社会実装する取組を推進し、論文・学会発表を通じて、国内外に積極的に情報発信した。(No. 27)
- ・外部資金を活用した研究や、他の大学や研究機関をはじめとする産学官と連携した研究を積極的に推進した。(No. 34)
- ・地域に対応した課題を解決するため、大学、病院、企業や関係団体等との連携を推進した。(No. 39)
- ・健康寿命の延伸に資する研究課題を科学的に分析し、県や市町の政策形成や各種施策の推進を積極的に支援した。(No. 42)

(2) 特色ある点

- ・地域医療連携推進法人ふじのくに社会健康医療連合への参画、県からの医師配置調整業務の受託など、医師などの人材確保対策に積極的に貢献した。(No. 54)

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ・魅力的な教育・研究拠点として着実に進歩していることを評価する。
- ・社会健康医学の研究拠点として、静岡発の論文発表数が着実に増加していることを高く評価する。
- ・大学におけるコホート研究を県内複数箇所で展開し、地域特性を把握するための研究を推進していることを評価する。
- ・各教員が研究代表者としての外部資金の獲得を増やすよう努め、大学としても支援して頂きたい。
- ・外部資金の更なる獲得に向けて、学内の教授に対し、科研費の申請などを励行頂きたい。
- ・開学してから間もない時期に寄附講座を開設したことを評価する。
- ・医師の学生確保のためにも県立総合病院とより連携を深めて頂きたい。
- ・県から受託している医師配置調整業務を引き続き担うことによって、本県の医療提供体制を支える医療人材の偏在解消に貢献していくことを期待する。
- ・現在高い評価を得ている項目については、引き続きその評価を維持するよう取り組んで頂きたい。

〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価 対象 項目数	SS 中期計画を 大幅に 上回って実施 している	S 中期計画を 上回って 実施している	A 中期計画を 順調に実施 している	B 中期計画を 十分には 実施して いない	C 業務の大幅な 見直し等が 必要
1 教育	17	0	0	17	0	0
2 研究	15	0	0	15	0	0
3 成果の還元	6	0	0	6	0	0
4 国際交流	5	0	0	5	0	0
5 人材の確保	3	0	0	3	0	0
合 計	46	0	0	46 (100.0%)	0	0

〔参考〕活動目標一覧

区分	活動目標	目標	実績（見込）	評価
1 教育	入学定員充足率	100%（期間平均）	期間平均 175%（105 人/60 人）	S
	教員の FD 研修参加率	毎年度 100%	期間平均 100%	A
2 研究	論文件数及び学会等 発表件数	120 件（期間累計）	期間累計 423 件/120 件	S
	外部資金獲得件数	20 件（期間累計）	期間累計 55 件/20 件	S
3 成果の還元	連携協定締結団体数	5 団体（期間累計）	期間累計 17 団体/5 団体	S
	研究成果の施策反映数	1 件/年度（期間平均）	期間平均 2 件/1 件	S
	シンポジウム・公開講 座の開催回数	毎年度 3 回	期間平均 3 回/3 回	A
4 国際交流	交流協定締結数	1 件（期間累計）	期間累計 1 件/1 件	A

Ⅱ 法人の経営に関する目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

法人の経営に関する目標の進捗状況は、「**中期目標の達成に向けた進捗状況が良好である**」と評価する。

(2) 判断理由

法人は、中期目標として指示された「法人の経営に関する目標」を達成するため、中期計画として小項目 11 項目、活動目標 2 目標を定め業務を実施しているところであるが、当評価委員会が検証した結果、11 項目全てが「**中期計画を順調に実施している**」と認められた。また、活動目標は、2 目標中 1 目標が「**中期計画を上回って実施している**」、1 目標が「**中期計画を順調に実施している**」と認められた。

これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のと通りの評価に相当すると判断した。

2 優れた点、特色ある点、評価に当たっての意見、指摘等

(1) 優れた点

- ・競争的資金や産学民官連携による共同研究費・受託研究費などの外部資金の獲得、寄附金の確保等、積極的に自己収入の確保に努めた。(No. 66)

(2) 特色ある点

- ・事務職員の適正配置、「研究支援室」の教務課への設置など、事務事業の見直し及び効率化を図った。(No. 61)

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ・各教員が研究代表者としての外部資金の獲得を増やすよう努め、大学としても支援して頂きたい。(再掲)
- ・現在高い評価を得ている項目については、引き続きその評価を維持するよう取り組んで頂きたい。(再掲)

〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価 対象 項目数	SS 中期計画を 大幅に 上回って実施 している	S 中期計画を 上回って 実施している	A 中期計画を 順調に実施 している	B 中期計画を 十分には 実施して いない	C 業務の大幅な 見直し等が 必要
1 業務運営の 改善	8	0	0	8	0	0
2 財務内容の 改善	3	0	0	3	0	0
合 計	11	0	0	11 (100.0%)	0	0

〔参考〕活動目標一覧

区分	活動目標	目標	実績（見込）	評価
1 業務運営の改善	職員の SD 研修参加率	毎年度 100%	期間平均 100%	A
2 財務内容の改善	外部資金獲得件数【再掲】	20 件（期間累計）	期間累計 55 件/20 件	S

Ⅲ 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標の進捗状況は、「**中期目標の達成に向けた進捗状況が良好である**」と評価する。

(2) 判断理由

法人は、中期目標として指示された「自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」を達成するため、中期計画として小項目3項目を定め業務を実施しているところであるが、当評価委員会が検証した結果、3項目全てが「**中期計画を順調に実施している**」と認められ、この状況を総合的に勘案し、(1)のと通りの評価に相当すると判断した。

2 特色ある点、評価に当たっての意見、指摘等

(1) 特色ある点

- ・ニュースレターの年4回の刊行、アニュアルレポートを作成し、病院や関係団体へ配布するなど、多様な広報手段を用いて積極的に魅力を発信した。(No. 70)

(2) 評価に当たっての意見、指摘等

- ・教育研究の成果が上がっているため、今後は他大学と差別化を図り、特色を出すための議論を進め、大学の魅力の向上及び発信に努めて頂きたい。

〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価 対象 項目数	SS 中期計画を 大幅に 上回って実施 している	S 中期計画を 上回って 実施している	A 中期計画を 順調に実施 している	B 中期計画を 十分には 実施して いない	C 業務の大幅な 見直し等が 必要
1 評価の充実	1	0	0	1	0	0
2 情報の公開・ 広報の充実	2	0	0	2	0	0
合 計	3	0	0	3 (100.0%)	0	0

IV その他業務運営に関する重要目標

1 評価結果と判断理由

(1) 評価結果

その他業務運営に関する重要目標の進捗状況は、「**中期目標の達成に向けた進捗状況が良好である**」と評価する。

(2) 判断理由

法人は、中期目標として指示された「その他業務運営に関する重要目標」を達成するため、中期計画として小項目 9 項目、活動目標 1 目標を定め業務を実施しているところであるが、当評価委員会が検証した結果、9 項目全てが「**中期計画を順調に実施している**」と認められた。また、活動目標は「**中期計画を順調に実施している**」と認められた。

これらの状況等を総合的に勘案し、(1)のとおりの評価に相当すると判断した。

2 特色ある点

- ・ 学生及び教職員を対象とした情報セキュリティ研修会の実施、情報セキュリティ委員会の設置など、個人情報保護のための対策の強化を図った。(No. 76)

〔参考〕小項目評価の集計結果

区分	評価 対象 項目数	SS 中期計画を 大幅に 上回って実施 している	S 中期計画を 上回って 実施している	A 中期計画を 順調に実施 している	B 中期計画を 十分には 実施して いない	C 業務の大幅な 見直し等が 必要
1 施設・設備 の活用、管理	1	0	0	1	0	0
2 安全管理	5	0	0	5	0	0
3 社会的責任	3	0	0	3	0	0
合 計	9	0	0	9 (100.0%)	0	0

〔参考〕活動目標一覧

区分	活動目標	目標	実績（見込）	評価
3 社会的責任	コンプライアンス・ハラスメント研修の実施回数	毎年度 1 回	期間平均 3 回/ 1 回	A